

移植前後の管理

本年は気温の変動が激しい状況ですが、苗は概ね順調に生育しています。
19日発表の2週間予報の最高気温は、20～22日にかけて平年より「低い～かなり低い」、23日以降は「平年並～高い」となっています。
気象条件に合わせた育苗管理と移植後の水管理を心がけましょう。

◎移植後の水管理のポイント

- ①活着まで・・・植え傷みや転び苗を防ぐ（活着まで通常5日程度）
 - ・水深は3～5cmとします。
 - ②活着後・・・分けつを促す
 - ・分けつに適する温度は気温で13℃以上、水温で16～30℃（適温は23℃）です。
 - ・**高温、晴天時**・・・分けつ促進のために浅水管理（1～3cm）とします。
 - ・**低温、強風時**・・・稲を守るために深水管理（稲体の2/3目安）とします。
- ※ 例年イネミギワバエの発生が多く見られています。水深に注意を！
- ・入水は用水と気温差の少ない夜間または早朝に行い、日中は止め水で水温上昇を図ります。

～深水管理～
上位葉の付け
根まで（目安
は稲の2/3）



～浅水管理～
(1～3cm)

◎除草剤を適切に使用しましょう

- ・除草剤の使用時期は代かきから移植までの日数を5日以内として設定しています。代かきから移植まで日数が空く場合、除草剤は使用時期内で早めに散布するようにしましょう。
- ・止め水を確実にを行い、湛水状態を保ちましょう。散布時の水深は3～5cmです。ただし、ジャンボ剤は水深5～6cmで使用します。
- ・止め水期間の入水は静かに行います。

— 農作業事故・農薬事故には十分注意しましょう！ —

